

---

# 追憶の旅

那宮 利人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

追憶の旅

### 【Nコード】

N2257K

### 【作者名】

那宮 利人

### 【あらすじ】

そこは薄暗い路地だった。全く知らない場所。ここは何処？何故、僕は此処にいる？そして、僕は誰？  
綺麗な白い肌、小柄な体型、サラサラのブラウンカラーの髪。見た目はすごくきれいな美少女にしか見えない少年リンの、これまで歩んできた旅を追憶していく。リンとその仲間たちが、一つの物語を紡ぐ旅。

## プロローグ

目を開けた。

そこは暗い路地。

見上げれば、青空が静かにたたずんでいた。

あたりを見回す。

見たことのない場所。

小さな子どもが、遠い所に置き去りにされたような感覚だ。

ここは何処だろうか。

そして思った。

僕は誰？

自分の名前がわからない。

自分が何者なのかわからない。

何をしに、自分がここに来たのかわからない。

唯一わかったのは、自分は男で、旅人だということだけ。

そう、僕には記憶がなかった。

僕の旅はここから始まった。

たまたま路地にいたお爺さんに、“リン”と名付けてもらい……

そして、僕はこれからの事をここに残していきたいと思う。

僕がどんな人たちと出会ったか。

どんな国や村を見てきたか。

楽しいこと、うれしいこと、怒ったこと、幸せだったことや辛くて悲しかったこと。

そして、どんなに大きな罪を犯してしまったのか。

すべてをここに残したいと思う。

だから僕はこれから、

“追憶の旅”に出る。

## プロローグ (後書き)

こんにちは、またははじめまして。那宮利人です。

まだこれの他に E T E R N A L M A Z E 永久迷路 を書いている途中ですが、アイデアが浮かんでしまい、気付いたら勢いに乗って書いていました。

とりあえず、まだまだ未熟者ですが、何卒よろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2257k/>

---

追憶の旅

2010年10月20日18時08分発行